

平成 29 年度
下水道に関する人身事故発生状況について
(平成 29 年 12 月末現在)

1. 総括
2. 維持管理作業
3. 工事

国土交通省 水管理・国土保全局
下水道部

1.人身事故発生状況(総括)

(平成29年12月末現在)

平成29年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3月までの集計	合計
維持管理作業	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	4 (4)	4 (4)
	2. 負傷事故	3 (0)	2 (1)	2 (1)	4 (2)	3 (4)	4 (0)	1 (1)	3 (5)	6 (5)	0 (1)	0 (3)	0 (2)	28 (25)	28 (25)
	合計	3 (0)	2 (1)	2 (1)	5 (3)	3 (4)	4 (1)	2 (2)	4 (5)	7 (5)	0 (1)	0 (4)	0 (2)	32 (29)	32 (29)
	累計	3 (0)	5 (1)	7 (2)	12 (5)	15 (9)	19 (10)	21 (12)	25 (17)	32 (22)	32 (23)	32 (27)	32 (29)	-	-
工事	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	7 (3)	7 (3)
	2. 負傷事故	4 (5)	5 (4)	5 (6)	5 (8)	8 (5)	12 (8)	5 (8)	15 (7)	13 (13)	0 (15)	0 (15)	0 (9)	72 (103)	72 (103)
	合計	4 (5)	5 (4)	6 (6)	7 (8)	8 (5)	14 (8)	6 (8)	16 (7)	13 (14)	0 (15)	0 (17)	0 (9)	79 (106)	79 (106)
	累計	4 (5)	9 (9)	15 (15)	22 (23)	30 (28)	44 (36)	50 (44)	66 (51)	79 (65)	79 (80)	79 (97)	79 (106)	-	-
合計	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	1 (0)	3 (1)	0 (0)	2 (1)	2 (1)	2 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (3)	0 (0)	11 (7)	11 (7)
	2. 負傷事故	7 (5)	7 (5)	7 (7)	9 (10)	11 (9)	16 (8)	6 (9)	18 (12)	19 (18)	0 (16)	0 (18)	0 (11)	100 (128)	100 (128)
	合計	7 (5)	7 (5)	8 (7)	12 (11)	11 (9)	18 (9)	8 (10)	20 (12)	20 (19)	0 (16)	0 (21)	0 (11)	111 (135)	111 (135)
	累計	7 (5)	14 (10)	22 (17)	34 (28)	45 (37)	63 (46)	71 (56)	91 (68)	111 (87)	111 (103)	111 (124)	111 (135)	-	-

※下段()書きは前年度(平成28年度)の値
 ※国土交通省へ報告のあった事故について集計

2.人身事故発生状況(維持管理作業)

(平成29年12月末現在)

平成29年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成28年度 合計
事業者主体	1. 都道府県	1	0	1	2	2	1	1	3	3	0	0	0	14	9
	2. 政令市	2	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	8	5
	3. 一般市	0	1	0	2	0	2	0	1	3	0	0	0	9	13
	4. 町村	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
	5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	3	2	2	5	3	4	2	4	7	0	0	0	32	29
発生施設	1. 管渠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	2. マンホール	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3	7
	3. 処理場	1	2	1	4	2	2	2	3	5	0	0	0	22	16
	4. ポンプ場	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	4
	5. その他	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	6	1
	合計	3	2	2	5	3	4	2	4	7	0	0	0	32	29
事故類型	死亡事故	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	4	4
	1. 墜落・転落	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
	2. はさまれ・巻き込まれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 転倒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12. 公衆災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14. その他	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0
	負傷事故	3	2	2	4	3	4	1	3	6	0	0	0	28	25
	1. 墜落・転落	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	6
	2. はさまれ・巻き込まれ	1	1	0	3	1	0	0	0	1	0	0	0	7	11
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
	5. 転倒	1	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	5	0
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8. 交通事故	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12. 公衆災害	1	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	0	5	4
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14. その他	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	6	2
合計	3	2	2	5	3	4	2	4	7	0	0	0	32	29	
被災者数(人)	1. 自治体職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	2. 委託先業者	2	2	1	5	4	3	2	4	6	0	0	0	29	26
	3. 第三者	1	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	0	5	4
	合計(人)	3	2	2	5	4	5	2	4	7	0	0	0	34	31
累計	3	5	7	12	16	21	23	27	34	34	34	34	-	-	

平成28年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数(人)	1. 自治体職員	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	2. 委託先業者	0	1	1	2	4	0	1	5	4	1	5	2	26
	3. 第三者	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	4
	合計(人)	0	1	1	3	4	1	2	5	6	1	5	2	31
累計	0	1	2	5	9	10	12	17	23	24	29	31	-	

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

人身事故情報データベース(維持管理作業)

平成29年度

平成29年12月末現在

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・発生防止策		被災者	
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	再発防止策等		
12月								
1	H29.12.1	4. 町村	処理場	①負傷事故	14.その他	消化タンクの加温ボイラーの点検作業中に、通常開閉しない熱交換部のフランジを開けて炉内の確認をしようとし、熱湯を太もも等に浴びてしまった。(両足太もも等の火傷)	<ul style="list-style-type: none"> 作業手順書の見直し 現場に注意喚起等を掲示 ボイラーに関する勉強会の実施 	委託先業者
2	H29.12.5	1. 都道府県	処理場	①負傷事故	5. 転倒	処理場の巡視点検作業中、階段を下りる際に足を踏み外して転倒した。(左足小指骨折)	<ul style="list-style-type: none"> 受託者に対して厳重注意を行うとともに、他処理区でも同様の事故が発生しないよう注意喚起を図った。 安全講習を行い、再発防止へ向け作業員への周知を図る。 現場対策として階段を塗装し、視認性を高める。 	委託先業者
3	H29.12.14	3. 一般市	その他	①負傷事故	12.公衆災害	住民が市道を歩行中、道路から5cm突起した公共汚水柵に足を躓かせ転倒。右顔面、膝、左手指を打撲。	交通量が多い道路にある人孔や公共汚水柵等が道路(路面)から突出していないか目視調査し、段差の解消を行う。	第三者
4	H29.12.22	3. 一般市	処理場	①負傷事故	2.はさまれ・巻き込まれ	最終沈殿池において、仮設ポンプを設置し水替え作業を実施中、ポンプの不具合により停止したため、確認していたところ、急にポンプが再稼働し、足が吸い込まれた。(左足親指、中指及び薬指切断、左足甲骨折)	受託者等へ現場作業における安全に対し周知徹底を行う。	委託先業者
5	H29.12.22	1. 都道府県	処理場	①負傷事故	5. 転倒	浄化センターの修繕で発生した処分品を仮置き場から場外へ搬出する作業中、処分業者の従業員が風でめくれたブルーシートの端に足が引っかかり転倒し、左足を骨折した。	シートのめくれを防止するための措置(土嚢等)を指示した。	委託先業者
6	H29.12.29	3. 一般市	マンホール	②死亡事故	14.その他	下水道管渠の清掃作業中に委託先作業員が硫化水素中毒と疑われる死因により、マンホール内で死亡した。	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時対応時における体制の整備 職員の対応マニュアル、安全対策チェックリストの作成 緊急対応事象発生時を想定した訓練の実施 安全対策チェックリスト等を活用した受注者への指導の徹底 	委託先業者
7	H29.12.30	1. 都道府県	処理場	①負傷事故	5. 転倒	焼却設備の反応助剤の交換作業後、目視確認のため脚立の1段目に足を掛けたところ、脚立が滑りやすいブルーシート上に乗っていたことから、脚立が滑り作業員が転倒した。(右足首外果骨折)	<ul style="list-style-type: none"> ①脚立作業における安全教育を再実施する。 ②各作業員が作業手順書を再確認する。 など 	委託先業者

3.事故発生状況(工事) (平成29年12月末現在)

平成29年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成28年度 合計
事業者主体	1. 都道府県	0	1	0	1	1	3	0	1	0	0	0	0	7	6
	2. 政令市	1	2	0	3	2	1	2	3	0	0	0	0	14	19
	3. 一般市	3	2	4	3	4	11	7	12	10	0	0	0	56	69
	4. 町村	0	1	1	2	0	0	0	2	2	0	0	0	8	10
	5. その他	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3	2
	合計	4	6	6	9	7	15	9	19	13	0	0	0	88	106
工事分類	1. 管きょ開削	2	4	3	3	3	9	7	14	8	0	0	0	53	67
	2. 管きょ推進	0	1	1	3	3	0	1	1	2	0	0	0	12	12
	3. 管きょシールド	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3
	4. 管きょその他	0	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	6	4
	5. 処ポ土木建築	2	0	1	2	0	3	0	0	1	0	0	0	9	9
	6. 処ポ機械電気	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	4	10
	7. 処ポその他	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	3	1
	合計	4	6	6	9	7	15	9	19	13	0	0	0	88	106
事故類型	1. 墜落・転落	1	1	2	4	0	3	0	4	2	0	0	0	17	22
	2. はさまれ・巻き込まれ	1	1	2	2	1	3	3	6	3	0	0	0	22	23
	3. 飛来・落下	1	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	0	7	6
	4. 切れ・こすれ	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3	1
	5. 転倒	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	3	5
	6. 激突	0	1	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	5	8
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	2	2	2	1	2	0	0	0	9	6
	8. 交通事故	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	12-1. 公衆災害(人身)	0	0	0	0	2	3	0	1	3	0	0	0	9	14
	12-2. 公衆災害(物損)	0	1	0	2	0	0	3	2	0	0	0	0	8	10
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
14. その他	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	4	4	
合計	4	6	6	9	7	15	9	19	13	0	0	0	88	106	
被災者数(人)	1. 死亡	0	0	1	2	0	2	1	1	0	0	0	0	7	3
	2. 重傷	1	4	4	2	5	8	3	13	8	0	0	0	48	69
	3. 軽傷	3	1	1	3	3	4	2	3	6	0	0	0	26	24
	合計(人)	4	5	6	7	8	14	6	17	14	0	0	0	81	96
累計	4	9	15	22	30	44	50	67	81	81	81	81	-	-	
その他(民間発注工事など)															
	1. 死亡	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

平成28年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数(人)	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	3
	2. 重傷	4	1	5	5	3	7	7	5	7	10	10	5	69
	3. 軽傷	1	3	1	3	2	1	1	2	5	1	2	2	24
	合計(人)	5	4	6	8	5	8	8	7	13	11	14	7	96
累計	5	9	15	23	28	36	44	51	64	75	89	96	-	
その他(民間発注工事など)														
	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

事故情報データベース(工事)

平成29年度

平成29年12月末現在

NO.	発生年月日	工事情報			事故情報			被災者		
		事業主体	工事分類	従事作業	発生場所	事故概要	事故類型	年齢	性別	被害状況
12月										
1	H29.12.2	3.一般市	1.管きょ開削	埋戻し工	現場内	下水道管渠開削工事にて、掘削深2mで管渠を布設し、埋め戻しを行った。その後、掘削深1.4mまで埋め戻したことから支保工を引き抜き、埋め戻しを再開し始めたが、写真撮影のために降りた際、土砂が崩落し作業員が負傷したものの。	7.土砂崩壊	39	男	臀部打撲及び打ち身、骨盤部血腫
2	H29.12.4	3.一般市	6.処ボ機械電気	機器搬入作業	現場内	屋内で台車にて機器(コントロール盤)を搬入中、台車から機器が外れそうになり、盤が傾斜しはじめ、その態勢を立て直そうと盤を両手で抑えたが支えきれず、盤ごと後方に転倒し、作業員が負傷したものの。	2.はさまれ・巻き込まれ	49	男	胸骨骨折(全治3ヶ月)
3	H29.12.8	5.その他	5.処ボ土木建築	バックホウオペレータ	現場内	解体中の吐出井内にて、破砕したコンクリート上(高さ95cm)から地面に両手をついて降りようとした際、足がもつれて転落し、臀部から着地し被災したものの。	1.墜落・転落	55	男	腰椎圧迫骨折
4	H29.12.8	4.町村	1.管きょ開削	掘削作業	現場内	本管の設置作業中、衣服が操作レバーに引っかかりバックホウのバケットが動き、作業中の2人がマンホールとバックホウのバケットの間にはさまれた。	2.はさまれ・巻き込まれ	72 56	男 男	打撲、裂傷
5	H29.12.11	3.一般市	1.管きょ開削	現場作業	現場内	現場作業中に、現場搬入されていたセメントバックの下に設置されたブルーシートに作業員が足を引っ掛けて転倒し、左足首を負傷したものの。	5.転倒	63	男	左足首負傷
6	H29.12.11	3.一般市	2.管きょ推進	ハンドブレーカによる岩掘削	現場内	坑内の岩盤掘削時に、ブレーカの先端部が横滑りし、作業員の右足甲に接触し、裂傷及び骨折した。	6.激突	54	男	裂傷・骨折(右足甲)
7	H29.12.12	3.一般市	1.管きょ開削	-	現場内	工事現場を通る第三者が規制の外に置かれていた資材につまずき転倒。なお、当日の工事は終了しており、事故箇所は暗い状態であった。	12-1.公衆災害(人身)	68	女	-
8	H29.12.13	3.一般市	2.管きょ推進	立坑工	現場内	立坑用ケーシング(Φ3,000)をトラックから積降す際、クレーンで吊り上げるためケーシングに登りロープ掛けをしていた。その際に、作業員がバランスを崩し路上へ転落し右足首を骨折したものの。	1.墜落・転落	43	男	右脛骨骨幹部骨折(全治2ヶ月)
9	H29.12.16	3.一般市	1.管きょ開削	-	現場外	ウエルポンプへの電源供給用ケーブル(防護カバーにて養生し道路を横断)に、通行人がつまずき転倒した際、左手で地面に手をつき、指を骨折。	12-1.公衆災害(人身)	67	女	左手指骨折
10	H29.12.20	3.一般市	1.管きょ開削	土工	現場内	管渠掘削施工時(掘削深H=1.1m)、作業員が掘削面に入り作業を行っていたところ、掘削後方の表土が崩落した。その際、作業員が転倒し、水道管仮止め杭に接触し右肋骨を骨折。	7.土砂崩壊	67	男	右肋骨骨折
11	H29.12.22	3.一般市	1.管きょ開削	現場作業	現場内	下水道開削工事にて岩盤掘削作業(鉄板を敷き作業)をしていた際、0.45BHIにより鉄板を持ち上げ旋回した時に鉄板が揺れ、それをおさえようと作業員が近づいたところ、フックに付けた吊金具から鉄板が外れ右足すねに衝突した。安全ストッパーのない金具を使用し安全確保を怠ったことが原因。	2.はさまれ・巻き込まれ	72	男	右足骨折
12	H29.12.26	4.町村	4.管きょその他	止水プラグ設置工	現場内	下水道管の管更生において上流からの汚水を止めるため、止水プラグを設置し、その後、作業員1名がMHIに入り、止水プラグを引き抜く作業を行った。その際、上流からの汚水の勢いもあり、勢いよく止水プラグが抜け、作業員の足にあたり右足を骨折。	6.激突	27	男	右足脛2本と足甲2本骨折、右足かかと骨ひび
13	H29.12.27	3.一般市	1.管きょ開削	-	現場内	工事現場へコンクリート殻搬出用のダンプトラック(10t)が公道から左折して進入した際、歩道を直進中の自転車(第三者)と接触したものの。	12-1.公衆災害(人身)	20	女	打撲、擦り傷

◆安全に関する講習会・研修会等の実施状況(全国)

都道府県コード	都道府県名	地方公共団体数	H29.11.10～H29.12末までの取り組み状況		H29.4.1～H29.11.9までの取り組み状況	
			安全パトロールを実施した団体数	講習会・研修会を実施した団体数 (工事・維持管理作業)	安全パトロールを実施した団体数	講習会・研修会を実施した団体数 (工事・維持管理作業)
01	北海道	151	61	180	64	23
02	青森県	35	35	63	30	14
03	岩手県	33	12	11	12	24
04	宮城県	35	30	5	26	4
05	秋田県	25	25	7	19	2
06	山形県	31	29	45	21	8
07	福島県	42	29	56	25	8
08	茨城県	46	40	17	29	6
09	栃木県	24	24	23	15	7
10	群馬県	30	29	42	13	1
11	埼玉県	64	8	11	9	8
12	千葉県	34	31	23	19	8
13	東京都	32	32	32	22	12
14	神奈川県	34	28	36	24	6
15	新潟県	29	24	31	17	4
16	富山県	15	11	15	9	5
17	石川県	19	19	18	14	5
18	福井県	20	10	9	12	4
19	山梨県	24	20	2	17	1
20	長野県	66	38	21	31	14
21	岐阜県	38	30	26	25	9
22	静岡県	30	25	15	21	7
23	愛知県	51	51	32	31	12
24	三重県	25	25	1	25	0
25	滋賀県	20	6	1	6	2
26	京都府	24	17	8	1	1
27	大阪府	44	43	22	40	12
28	兵庫県	43	43	19	20	43
29	奈良県	30	30	3	15	0
30	和歌山県	30	15	7	12	5
31	鳥取県	18	17	14	5	1
32	島根県	19	19	3	3	1
33	岡山県	27	26	13	14	4
34	広島県	23	19	12	11	2
35	山口県	19	19	15	13	3
36	徳島県	15	10	2	9	2
37	香川県	17	16	18	14	2
38	愛媛県	17	14	10	11	1
39	高知県	17	10	2	6	0
40	福岡県	47	43	24	36	9
41	佐賀県	17	16	21	6	2
42	長崎県	16	10	16	7	3
43	熊本県	31	16	23	13	6
44	大分県	14	14	10	7	3
45	宮崎県	17	11	10	8	2
46	鹿児島県	18	15	18	10	5
47	沖縄県	27	20	22	17	6
合計		1483	1115	1014	814	307
日本下水道事業団		-	155	2	1	1
都市再生機構		-	1	-	1	-

平成 29 年度
下水道に関する水質事故等発生状況について
(平成 29 年 12 月末現在)

国土交通省 水管理・国土保全局
下水道部

水質事故等発生状況 (平成29年12月末現在)

[総括]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	水質事故等 合計	1 (3)	3 (7)	6 (4)	6 (4)	1 (3)	11 (4)	5 (5)	6 (2)	7 (5)	0 (6)	0 (4)	0 (1)	46 (48)
	累計	1 (3)	4 (10)	10 (14)	16 (18)	17 (21)	28 (25)	33 (30)	39 (32)	46 (37)	46 (43)	46 (47)	46 (48)	- -

[内訳]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	1 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (1)	1 (0)	3 (1)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	13 (6)
	2. 政令市	0 (0)	1 (1)	0 (1)	1 (1)	0 (0)	5 (1)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (7)
	3. 一般市	0 (3)	1 (6)	3 (2)	3 (1)	0 (3)	3 (2)	3 (2)	5 (2)	4 (3)	0 (3)	0 (3)	0 (0)	22 (30)
	4. 町村	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	1 (5)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	合計	1 (3)	3 (7)	6 (4)	6 (4)	1 (3)	11 (4)	5 (5)	6 (2)	7 (5)	0 (6)	0 (4)	0 (1)	46 (48)
発生施設	1. 管渠	1 (2)	2 (4)	3 (3)	1 (1)	0 (2)	2 (1)	1 (1)	3 (2)	4 (2)	0 (2)	0 (1)	0 (0)	17 (21)
	2. マンホール	0 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	8 (4)
	3. 処理場	0 (1)	0 (1)	3 (1)	3 (3)	1 (0)	5 (1)	1 (3)	0 (0)	2 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	15 (12)
	4. ポンプ場	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (4)
	5. その他	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	1 (0)	2 (0)	1 (3)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	6 (7)
	合計	1 (3)	3 (7)	6 (4)	6 (4)	1 (3)	11 (4)	5 (5)	6 (2)	7 (5)	0 (6)	0 (4)	0 (1)	46 (48)
原因者	1. 下水道管理者(委託先含む)	1 (1)	3 (2)	3 (2)	3 (1)	0 (2)	6 (2)	3 (4)	4 (1)	2 (1)	0 (2)	0 (3)	0 (0)	25 (21)
	2. 民間事業者(一般人を含む)	0 (1)	0 (4)	2 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (3)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	6 (15)
	3. その他(天災、原因者不明含む)	0 (1)	0 (1)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	4 (1)	2 (1)	2 (1)	3 (1)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	15 (12)
	合計	1 (3)	3 (7)	6 (4)	6 (4)	1 (3)	11 (4)	5 (5)	6 (2)	7 (5)	0 (6)	0 (4)	0 (1)	46 (48)
事故類型	① 悪質下水の流入(放流水質が基準に不適合)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
	② 悪質下水の流入(放流水質が基準に適合)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	3 (4)
	③ 悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	0 (1)	0 (1)	0 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (5)
	④ 雨水管からの悪質下水の流出	0 (1)	0 (4)	0 (2)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (11)
	⑤ 下水道施設からの下水等の流出	1 (1)	2 (1)	2 (0)	1 (1)	0 (1)	3 (2)	2 (3)	4 (1)	3 (2)	0 (3)	0 (2)	0 (1)	18 (18)
	⑥ その他事故(①～⑤以外の事故)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	5 (2)
	水質事故 合計	1 (3)	2 (6)	4 (4)	3 (2)	1 (2)	6 (4)	4 (5)	6 (2)	6 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	33 (41)
その他案件	0 (0)	1 (1)	2 (0)	3 (2)	0 (1)	5 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (0)	13 (7)	
水質事故等 合計	1 (3)	3 (7)	6 (4)	6 (4)	1 (3)	11 (4)	5 (5)	6 (2)	7 (5)	0 (6)	0 (4)	0 (1)	46 (48)	
状況分類	① 耐用年数経過	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	2 (4)
	② 耐用年数以内	1 (0)	1 (1)	2 (0)	3 (0)	0 (1)	1 (1)	2 (1)	3 (1)	3 (0)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	16 (8)
	③ 天災等	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (5)
	合計	1 (1)	1 (2)	3 (0)	3 (1)	0 (2)	1 (1)	2 (2)	3 (1)	4 (1)	0 (3)	0 (3)	0 (0)	18 (17)

※状況分類については水質事故等において、事故発生原因が下水道施設の損傷または、設備の故障によるものを集計

※()内書きは、前年度(平成28年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

水質事故等情報データベース

平成29年度

平成29年12月末現在

NO.	発生年月日	事故情報			状況分類		事故概要・対応		
		事業主体	発生施設	事故類型	供用年数 ／ 標準耐用年数	損傷・故障 の発生状況	事故概要	事故への対応	
12月									
1	H29.12.5	3. 一般市	処理場	水質事故	①悪質下水の流入(放流水質が基準に 不適合)			民間事業場の作業の誤りにより、排除基準を超える 1,4ジオキサンを含む廃液が下水へ流出し、放流水質 についても基準を超過した。	排水基準値について事業場の現場責任者に説明し、 作業員への周知、作業現場での報告体制を改善す るよう指導した。
2	H29.12.19	3. 一般市	その他	水質事故	⑥その他事故(①～⑤以外の事故)			動植物油と思われる油が雨水幹線に流入した。	水路に油を流さないをお願いする内容をHPIにて 継続掲載する。 排水改善指導マニュアルを新規策定予定。
3	H29.12.26	3. 一般市	その他	水質事故	④雨水管からの悪質下水の流出			交通事故で車から漏れた軽油が雨水集水柵から雨 水管渠に流入し、河川に軽油が流出した	—

水質事故等情報データベース(原因:施設損傷・設備故障によるもの)

平成29年度

平成29年12月末現在

NO.	発生年月日	事故情報			状況分類		事故概要・対応		
		事業主体	発生施設	事故類型	供用年数 ／ 標準耐用年数	損傷・故障 の発生状況	事故概要	事故への対応	
12月									
1	H29.12.4	2. 政令市	管渠	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	55/50	耐用年数経過	圧送管の損傷により、汚水が流出した。(詳細調査 中)	検討中
2	H29.12.6	3. 一般市	管渠	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	20/50	耐用年数以内	海水の影響と思われる腐食により、圧送管に穴があ ぎ、汚水が流出した。	検討中
3	H29.12.9	2. 政令市	処理場	その他案件	—	1/10	耐用年数以内	浄化センターの汚泥焼却炉に共同研究で設置してい る過給機付近から出火し、火災が発生した。	検討中
4	H29.12.25	1. 都道府県	管渠	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	27/50	耐用年数以内	圧送管(露出部)が破損し、汚水が公共用水域に流 出した。	圧送管露出部の緊急点検を実施。日常点検におい ても点検頻度をあげて、再発防止と状況把握に努め る。